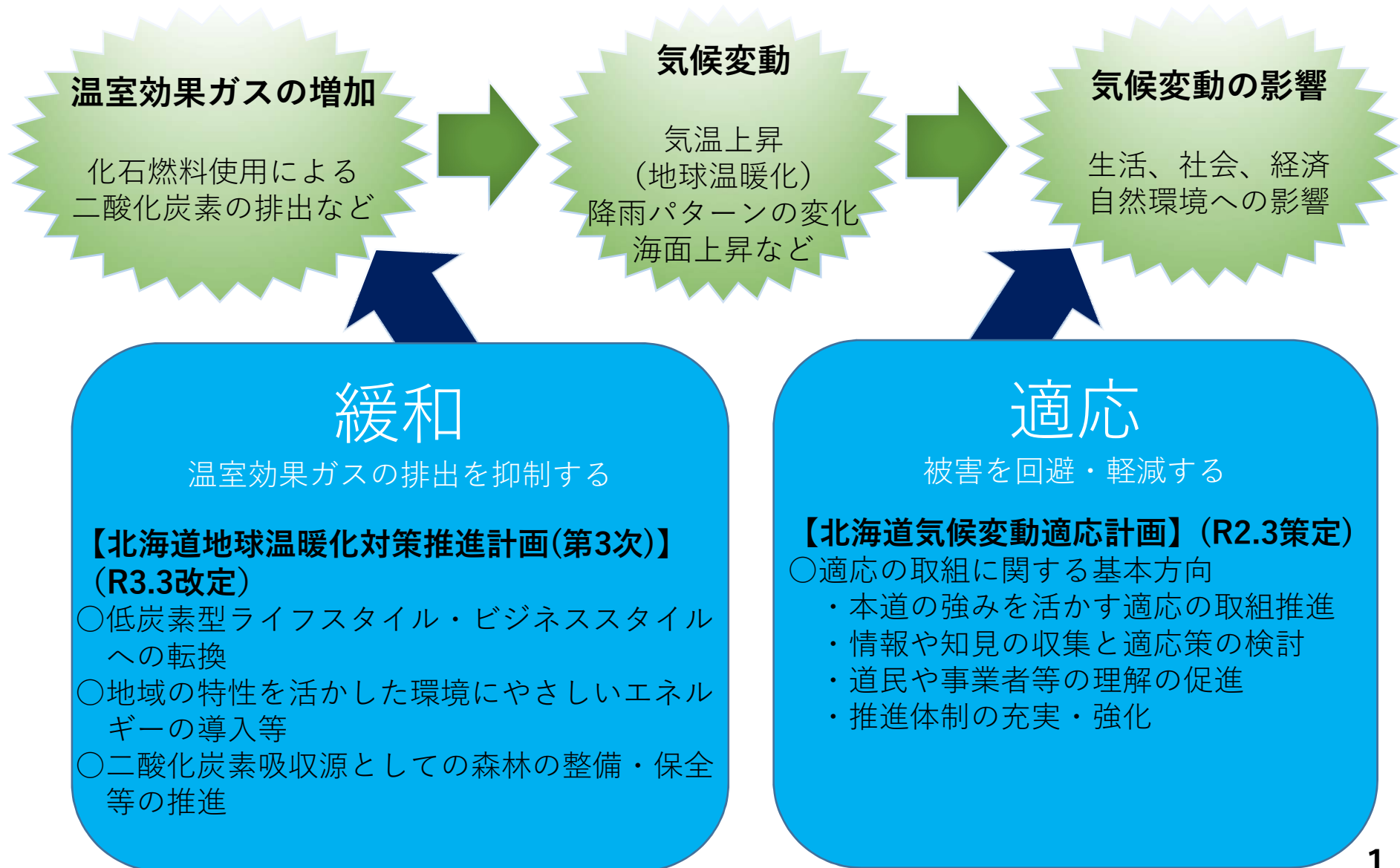


北海道の気候変動対策について

令和 3 年 6 月 9 日

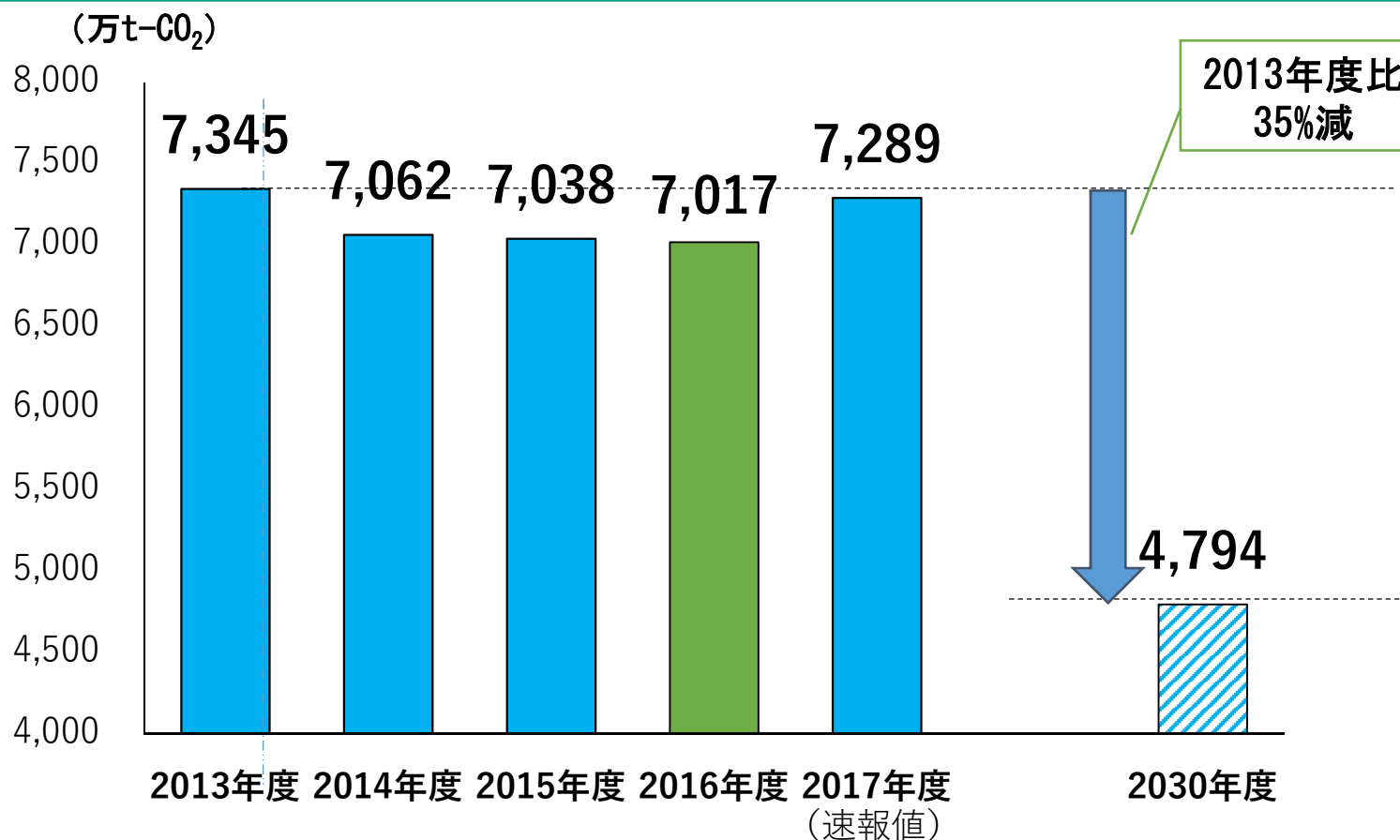
北海道環境生活部

気候変動対策



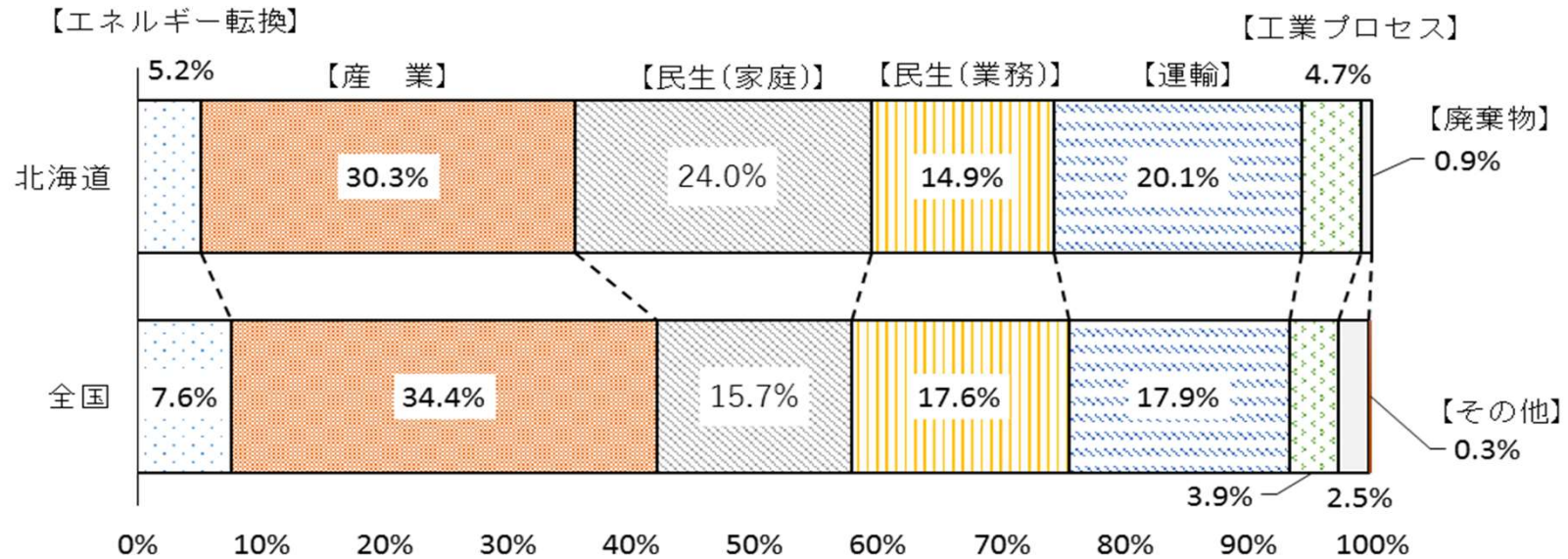
温室効果ガスの排出状況等 (1)

- 2017(H29)年度の本道の温室効果ガス排出量は 7,289万t-CO₂ (速報値)
- 基準年 (2013(H25)年度) と比べ約0.8%減少、前年度 (2016(H28)年度) と比べ3.8%増加
- 推進計画における 2030年度の削減目標は、基準年の排出量 (7,345万t-CO₂) から35%削減 (2,551万t-CO₂削減)



温室効果ガスの排出状況等 (2)

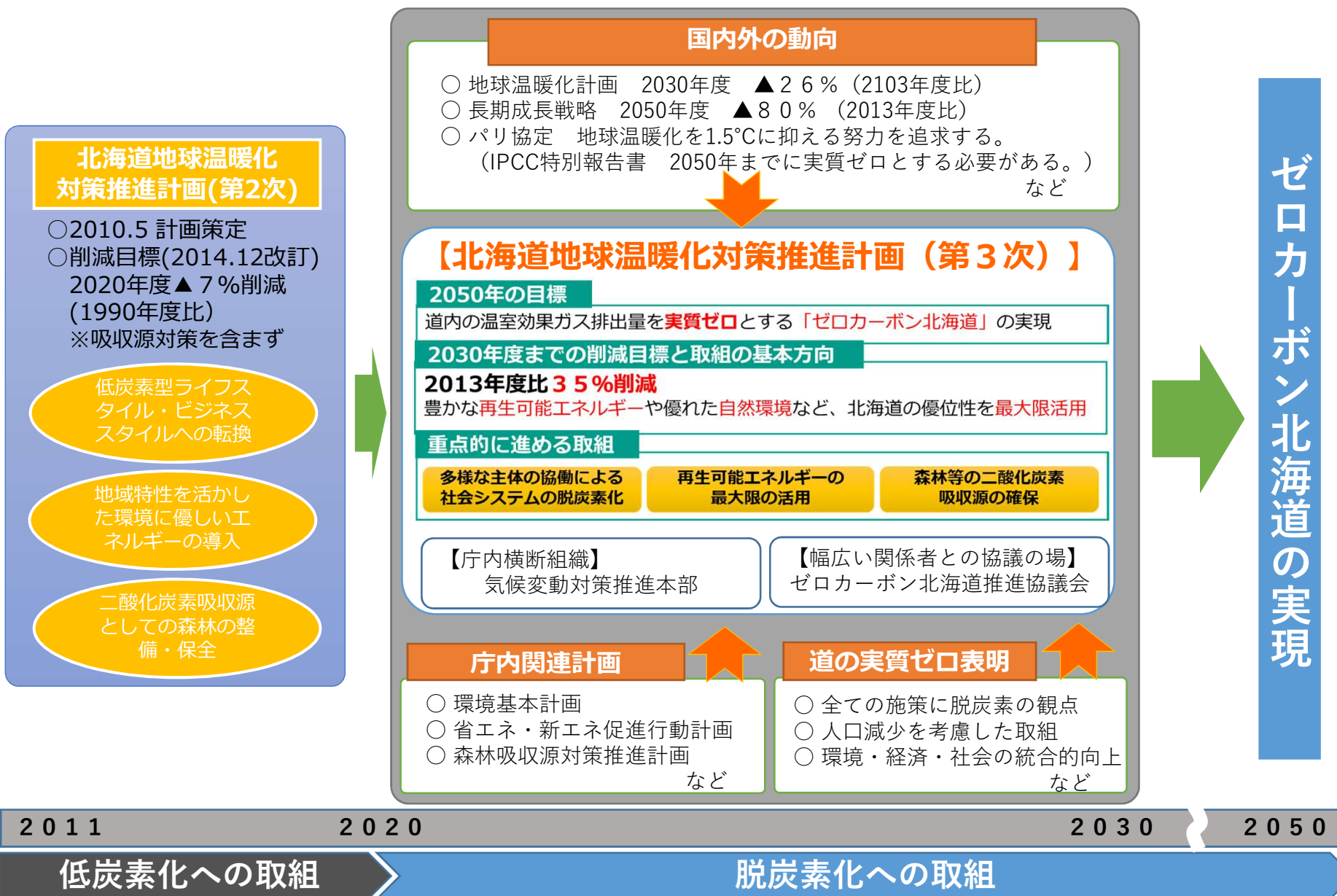
- 部門別の二酸化炭素排出量では、全国と比べ、民生（家庭）部門及び運輸部門の割合が高く、民生（業務）部門の割合が低い
- **一人当たり**の温室効果ガス排出量は**全国に比べ約1.3倍**
- 積雪寒冷により冬季の灯油等の使用量が多いことや、広域分散型で自動車への依存度が高いという地域特性



区 分	北 海 道	全 国
温室効果ガス排出量	7, 289 万t-CO ₂	129, 200 万t-CO ₂
一人当たり	13.7 t-CO ₂ /人	10.2 t-CO ₂ /人

※2017年度温室効果ガス排出量速報値

北海道地球温暖化対策推進計画について



1 北海道の特性

積雪寒冷な気候



暖房用の灯油使用量増

広域分散型の社会



移動に伴うガソリンの使用量増

北海道におけるカーボンニュートラルの実現には、こうした背景を踏まえた効果的な取組が必要

2 本道の再エネ導入ポテンシャル

発電設備容量は7年で2倍以上（H24→H30）

洋上風力、大規模バイオマス発電所の計画が進行中



系統制約が顕在化



興部北興バイオマスプラント（興部町）



風力発電
導入ポテンシャル
全国 1 位



太陽光発電
導入ポテンシャル
全国 1 位

中小水力発電
導入ポテンシャル
全国 1 位



バイオマス産業都市の数
（36市町村）
全国 1 位



地熱発電
導入ポテンシャル
全国 3 位

※「再生可能エネルギー情報提供システム（REPOS）（1.0版）2020年12月修正版」（環境省）による
※分布は、近年の再生可能エネルギー活用の取組等を参考にプロット。

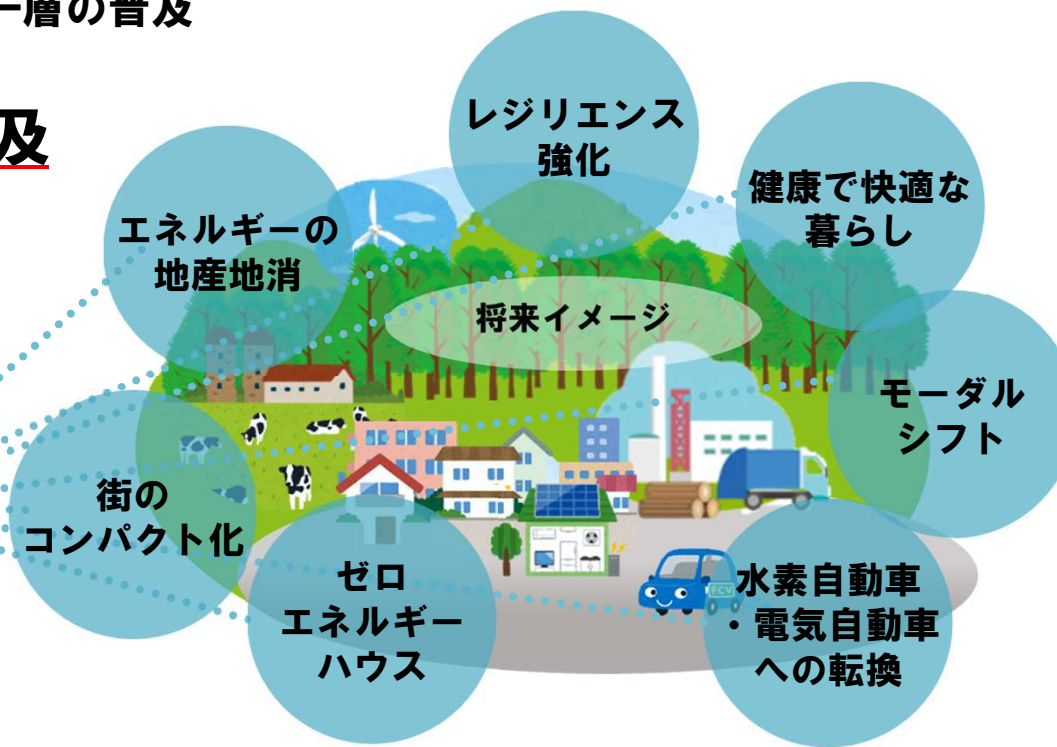
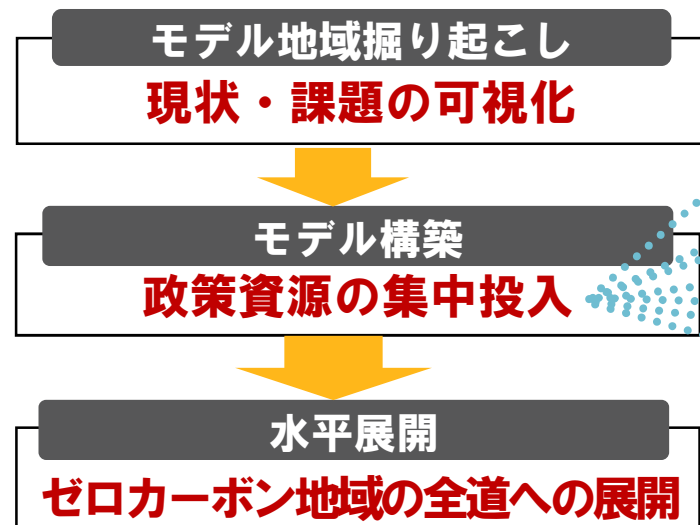
3 本道の特性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦

再エネの導入拡大に向け、**地域の新たな取組の掘り起こし**や導入までの総合的支援

脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換に向け、**行動変容（ナッジの活用）**を促す

省エネ性能の高い北方型住宅の一層の普及

脱炭素モデルの創出・普及



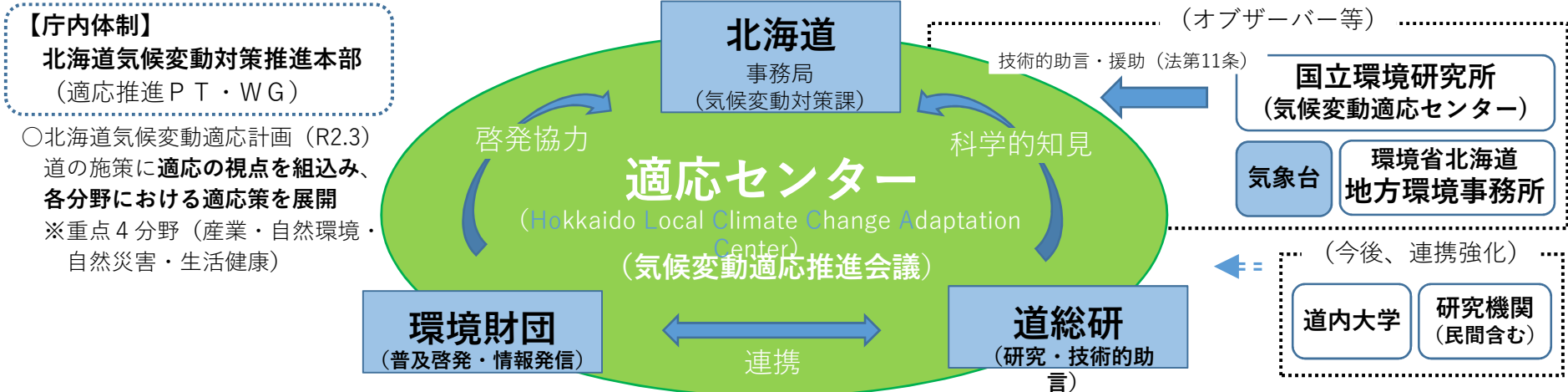
4 本道の特性を活かしたカーボンニュートラルへの貢献

- 積雪寒冷な気候
- 広域分散型の社会
- 再エネポテンシャルは全国有数



- 再エネ水素製造
- 大型の水素車両
- 寒冷地仕様の電動車
- 自動運転

北海道からイノベーションの創出



<センター機能①>

情報の収集、整理、分析及び提供

- ・地域の気候変動影響・適応の科学的知見の整理
- ・地域の適応の優良事例の収集
- ・地域の気候変動影響に関する予測・評価や情報発信
- ・情報及び整理・分析結果等の国環研との共有

<センター機能②>

技術的助言の実施

- ・地域計画策定や適応の推進のための技術的助言。
- ・事業者や地域住民の適応に関する相談への対応。

